



◆【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】

◆ SCステーションPR-31号 平成24年12月5日発行



このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。

配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数:4,477 件

SCステーションは、クラブづくりの疑問や悩み解決のヒントとなるQ&A集で、現在 270 個あり、キーワード検索もできます。

Q&Aを紹介する SCPR 号は年 4 回(3 カ月に 1 回)発行しています。

12 月発行後は、3 月 5 日の発行となります。

クラブ育成アドバイザーがクラブからよく受ける質問を中心に、新たなQ&Aを 5 個、HP にアップしましたので、ご紹介します。また、スタッフの雇用にかかわる既存のQ&Aも掲載します。

本年度の SCPR 号では、都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活動報告を、全国 9 ブロックの中から紹介しています。

今回は、関東ブロック(群馬県)、北信越ブロック(富山県)、東海ブロック(岐阜県)です。

ぜひご覧ください！

*****☆目次☆*****

【1】SCステーション 5 個の新 Q&A が HP にアップされました<NEW!>

(1. クラブのつくり方)

●Q37 同じような団体があるのに、なぜ総合型クラブをつくるのですか？

(2. 組織と運営)

●Q30 クラブにおけるリスクマネジメントとは？

(6. 広報と PR)

●Q22 最新情報システムを利用するメリットと方法は？

(9. プログラムとイベント)

●Q32 被災地で教室やイベントを行う際に注意すべきことは？

- Q33 「時間がない」という人を参加させるプログラムや方法は？

【2】スタッフの雇用にかかわる既存のQ&A

(3. 人材と育成)

- Q12 パート・アルバイトなどスタッフの募集方法を教えてください。

(7. 財源と財務)

- Q16 給料や謝金の源泉徴収はどのように行えばいいですか？

(10. 事務局の仕事)

- Q17 スタッフを雇ったら、必ず加入しなければならない保険は？

- Q18 スタッフを雇ったら、健康保険と厚生年金保険はどうしたらいいですか？

【3】SC 全国ネットワーク「都道府県総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会」活動報告 VOL.4～6

■群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～これからの県内総合型地域スポーツクラブに必要な連携～

■富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(通称:とやま SC ネット)

～期待される連絡協議会をめざして～

■総合型クラブ岐阜県協議会

～クラブ間の架橋となる協議会をめざして～

◆◇お知らせ◇◆

- ブロック別クラブミーティング報告(近畿)
- アクティブ・チャイルド・プログラム講習会のご案内
- 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2013 の参加申込み締切り迫る！
(平成 25 年 1/25、宮崎県)
- 平成 24 年度「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」公開セミナーの参加申込み締切り迫る！(12/21、東京都)
- 募集「第 1 回スポーツ振興賞」(平成 25 年 1/15 応募締切)
- クラブネッツフューチャーズミーティングの開催(12/14、東京都)

【1】SCステーション 5 個の新 Q&A が HP にアップされました<NEW!>

(1. クラブのつくり方)

- Q37 同じような団体があるのに、なぜ総合型クラブをつくるのですか？

クラブは協同関係にある組織であり、する・見る・支えるスポーツ

など様々なかわり方ができ、コミュニティ形成にも役立ちます。
このような取り組みが、今、社会や地域で必要とされているからです。

▼詳しくはこちらか

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/118/Default.aspx>

(2. 組織と運営)

●Q30 クラブにおけるリスクマネジメントとは？

クラブでは、事故や怪我はもちろん、人事や情報漏洩、ハラスメント、資金難、その他にもたくさんのリスクが考えられ、そのために「予防」「対応」「検証」をくり返し、信頼獲得につなげることです。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/119/Default.aspx>

(6. 広報とPR)

●Q22 最新情報システムを利用するメリットと方法は？

フェイスブックは、クラブの活動情報を素早く発信し、簡単な操作で写真やアルバム、動画などを公開することができます。
お金と労力の削減や、クラブの「ファン」を増やすツールとして有効です。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/124/Default.aspx>

(9. プログラムとイベント)

●Q32 被災地で教室やイベントを行う際に注意すべきことは？

被災地における支援活動を行う上で、欠かせないものが「情報」です。
生の情報を得ることで、真に必要な支援が可能になります。
被災者の思いや取り巻く状況、実体験から注意すべきことを説明します。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/127/Default.aspx>

●Q33 「時間がない」という人を参加させるプログラムや方法は？

魅力あるプログラムやきっかけづくりをクラブが考えて実施していくとともに、身近な人の積極的な誘いも効果があると考えられます。
職場への出前、単発、短時間、低頻度のプログラムなど工夫の余地はあります。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/127/Default.aspx>

【2】スタッフの雇用にかかわる既存のQ&A

(3. 人材と育成)

▼Q12 パート・アルバイトなどスタッフの募集方法を教えてください。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/195.html>

(7. 財源と財務)

▼Q16 給料や謝金の源泉徴収はどのように行えばいいですか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/287.html>

(10. 事務局の仕事)

▼Q17 スタッフを雇ったら、必ず加入しなければならない保険は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/128/Default.aspx?QuestionID=506&AFMID=552>

▼Q18 スタッフを雇ったら、健康保険と厚生年金保険はどうしたらいいですか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/128/Default.aspx?QuestionID=507&AFMID=552>

■SC ステーション Q&A 一覧(2012.12.05 現在)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/local/pdf/sc_q_list.pdf

【3】SC 全国ネットワーク「都道府県総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会」活動報告 VOL.4～6

SC全国ネットワークは、平成23年11月末で、47都道府県すべてに連絡協議会が設立され、全国で2,700を超えるクラブが加入しています。

■群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～これからの県内総合型地域スポーツクラブに必要な連携～
県内の全てのクラブが加盟している群馬県の協議会は、県教育委員会のスポーツ振興センターとスポーツ協会の強力な結びつきによる体制が背景にありました。最も特徴ある事業は、県庁1階ロビーにクラブ紹介・

体験コーナーを設置する「県民啓発事業」です。研修会は年3回行っています。今後は、エリア別部会の設置、予算や組織の自立、toto助成に頼らないクラブ支援などに向けて取り組んでいきます。

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.12SCPR_schnet_kyougikai_gunma.pdf

■富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(通称:とやま SC ネット)

～期待される連絡協議会をめざして～

平成19年から連絡協議会があった富山県は、現在、47クラブが加盟(加盟率80%)して6年目に入っています。マンネリ化もあるため、事業の見直しを図り、今年度は「チラシづくり」に着目した研修をし、喜ばれました。特色のある教室を展開しているクラブでの教室体験や他クラブから学ぶ研修もしています。「元気とやまスポレク交流大会」の主管を務め、県内クラブの交流や県民へのPRも積極的に進めています。

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.12SCPR_schnet_kyougikai_toyama.pdf

■総合型クラブ岐阜県協議会

～クラブ間の架橋となる協議会をめざして～

設立した平成22年には、地元の新聞に加盟クラブを紹介する記事を半年間にわたり連載してもらいました。設立から3年目を迎えた現在、県内を6地区に分けて地区協議会を開催し、クラブ間の交流促進などもしています。各地区の情報を共有するための「協議会だより」も年1回発行しています。

主要事業としての地区交流大会は、各クラブからの年会費や県体協からの助成金を財源として開催し、盛り上がりをみせています。

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.12SCPR_schnet_kyougikai_gifu.pdf

◆◇お知らせ◇◆

●ブロック別クラブミーティング報告(近畿)

10月～12月において、全国でブロック別クラブミーティング2012が順次開催されました。各地での活発な情報交換や話し合いが行われた内容をご報告します。ぜひご覧ください！

▼近畿ブロック:10月13日(土)、14日(日)

於:大阪府柏原市・大阪教育大学柏原キャンパス

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/Event%20Infomation/ClubMtg/H24/kinki_report.pdf

.....
.....

●アクティブ・チャイルド・プログラム講習会のご案内

日本体育協会では、平成20年から2カ年にわたり文部科学省の委託を受け「子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムの開発」研究を実施しました。

現在は、その研究成果を踏まえて、子どもたちの身体活動やスポーツ活動を促進するための資料を作成し、普及・啓発活動に取り組んでいます。

前年に引き続き、同プログラムの効果的な活用法の周知を目的とした講習会を全国9カ所で開催いたします。ご関心をお持ちの方はぜひこの機会にご参加ください。

▼参加申込方法等の詳細については、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/242/Default.aspx>

▼アクティブ・チャイルド・プログラムの詳細についてはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/776/Default.aspx#guide08>

.....
.....

●生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2013 の参加申込み締切り迫る！
(平成25年1/25、宮崎県)

本会議は、生涯スポーツ関係団体の各界各層の人々が一堂に会し、地域におけるスポーツ推進の現状及び課題について、研究協議や意見

交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ社会の実現に向けた機運の醸成を目的とし開催されます。

主催:文部科学省

日時:平成 25 年 1 月 25 日(金)10:00～17:00

会場:宮崎観光ホテル

参加費:2,000 円

申込締切:12 月 10 日(月)必着

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/event/tabid/200/Default.aspx>

.....
.....

- 平成 24 年度「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」公開セミナーの参加申込み締切り迫る！
(12/21、東京都)

本セミナーでは文部科学省委託事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」において、より効果的な取組みを展開するとともに、地域スポーツとトップスポーツの好循環に資する活動の活性化を図るために、関係者が一堂に会して情報共有や意見交換を行い、今後取り組むべき具体的な方策などについて議論します。
一般参加(傍聴)をご希望の方は、下記 HP をご確認ください。

主催:文部科学省

日時:平成 24 年 12 月 21 日(金)13:30～17:00

会場:文部科学省東館 3 階講堂

参加費:無料

申込締切:12 月 7 日(金)17:00 必着

※定員(300 名)になり次第、締切となります。

▼詳しくはこちらから

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/club/1327881.htm

.....
.....

- 募集「第 1 回スポーツ振興賞」(平成 25 年 1/15 応募締切)

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構では、「第1回スポーツ振興賞」として、「スポーツツーリズム大賞」、「スポーツとまちづくり賞」の募集を行っています。

【表彰内容】

＜スポーツツーリズム賞＞(各賞1点)

国土交通省観光庁長官賞・・・副賞 20万円

日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞・・・副賞 10万円

＜スポーツとまちづくり賞＞(各賞1点)

経済産業省商務情報政策局長賞・・・副賞 20万円

日本商工会議所 奨励賞・・・副賞 10万円

スポーツ健康産業団体連合会 会長賞・・・副賞 10万円

▼詳しくはこちらから

<http://www.jsif.or.jp/>

<http://sporttourism.or.jp/>

.....
.....

●クラブネットフューチャーズミーティングの開催(12/14、東京都)

総合型クラブの仲間達、日本のスポーツの将来と一緒に語りたい人なら誰でも参加できます。終了後、情報交換会も予定しています。同じ志をもつ人同士の交流のチャンスとしてぜひご参加ください！場所は日本大学文理学部(世田谷区桜上水)の1号館 131 教室、参加費 1,000 円(情報交換会 3,500 円)です。

【第6回】12月14日(金)18:30~21:00

＜ゲストスピーカー＞

筑波大学名誉教授、タイケン学園スーパーバイザー 佐伯年詩雄氏

テーマ:これからの市民社会・地域生活論とスポーツ組織論の

近未来像(仮題)

昭和36年に制定された「スポーツ振興法」を全面改訂した新法

「スポーツ基本法」のアドバイザーボードの一員として新法制定

に中心的に関わってこられた佐伯先生には、基本法制定の背景を

ベースにお話をいただきます。

